

校長室だより「伸びゆく梢」Ⅲ

文責 柴田町立船迫中学校 校長 三浦 道子

2学期がスタートしました。始業式に生徒の元気な笑顔を見ることができたのが、なによりです。1枚目には、1学期のまとめを学年代表として発表してくれた4名の作文原稿の一部を紹介します。裏面には2学期に目指してほしいことを式辞として掲載しました。ご家庭で話題にさせていただけたら幸いです。

1年生代表 光優さん



学級委員として、学年が気持ちよく過ごせるために、学級委員で意見を出し、学年委員長として、それをまとめ実行しました。集団生活がよりよくなるための呼びかけをしているうちに、学級委員の仕事に協力してくれる人が増えてきて、集団生活がよりよくなってきたと思います。しかし、中学校生活のなれからか、生活面でゆるみを感じられる時が時々ありました。学級委員が中心となり、集団の一員として皆が規範意識をより高められるように、これからも呼びかけを行ってまいります。

2年生代表 桃伽さん



2学年全体としては、少しずつ先輩である自覚を持ち始めたように感じます。部活動では、3年生の先輩がたが引退し、2年生が中心となってそれぞれの部をまとめていると思います。

私たちの学年は、ケジメのある生活をすることや、ルール、時間を守ることなどで、まだまだ多くの課題があります。それでも、進級したての頃より、学習に取り組む態度がよくなっている人や、自分で考え行動する人が増えています。少しずつではありますが、私たちは成長しています。中学校生活ももうすぐ折り返し。進級し、私たちが3年生になる日もそう遠くありません。これからもたくさんのお話を学び、経験を積み、さらに成長していかなければなりません。先生方や先輩方に、船迫中学校の顔として、最高学年としてふさわしい学年だと思っていただけるように、これからも2学年全員で努力していきましょう。

3年代表 絢祐さん



修学旅行では、3年生全員が普段と異なる環境に身を置き、協力し合いながら様々な困難に立ち向かうことができました。私たちは班ごとに分かれて行動し、旅行中に生じた問題を協力して解決しました。予定の変更や予期せぬトラブルが起こったとき、私たちは団結し、臨機応変に柔軟な対応力を発揮しました。また、東京の文化や歴史に触れることで自分たちの視野を広げることもできました。1学期の様々な行事を通して私たち3年生はとても成長しました。一体感を持ち、協力する力、仲間との連携、臨機応変に対応する力を学びました。これらの経験は、今後の人生において必ず役に立ちます。私たちは2学期も様々な活動を通してさらなる成長を遂げて行きたいです。

生徒会代表 楓芽さん



前期の生徒会活動へのご協力ありがとうございました。全校レクは楽しかったですか？私は全学年の絆が深まったり、一つになったと思いました。この絆をより深めていけるよう、2学期も頑張っていきたいと思います。

2学期にも、いろいろな行事があります。とくに迫中祭があります。最高の思い出を作るために、秋休み中は事故やコロナに感染しないようにしましょう。2学期も学校全体で協力し、これからもよりよい船迫中学校生徒会を全員で作っていきましょう。

二学期始業式 式辞

1学期の修了式に各学年代表、生徒会代表が、学年の実態を踏まえて今後の願いや目標を話してくれました。とても素晴らしい内容で、代表の言葉から船迫中学校の生徒一人一人の成長と未来を感じました。

私からは、2学期始業式にあたり全校で実施してほしいことを二つ話します。

まずは、**凡事徹底**。意味は、なんでもないような当たり前のことを徹底的に行うこと、また、当たり前のことを大切に積み重ねることができる人は、成長できるという意味があります。

私が校長として皆さんに望むのは、この凡事徹底です。人として当たり前のことは、時代や年代が変わっても変わりません。「挨拶をする。「ありがとうございます」と感謝の言葉を述べる。人として相手が嫌がることはしない。暴力や暴言は許されない。健康のために早寝・早起き・朝ご飯の習慣を大切にする。課題や宿題は自分のために頑張る等、どれも、とても当たり前のことです。

言葉を理解できる子どものころから、家族や幼稚園や保育所や小学校や中学校でも言われ続けていることです。

自分の凡事徹底を中学生として、社会にでる一人の人間としてもう一度考えて、実行してください。

次に特に2学期臨むことは、**宮城で一番、掃除が行き届いた学校、または学級**にしてください。船迫中学校は4年前に改修工事がなされ、とても素晴らしい環境です。そして、いつ来ても花や緑がある「掃除がいき届いたきれいな学校」として評判がとても高いのです。

たとえば、夏休みに掃除の専門業者がトイレ清掃にきました。柴田町では、夏休みに専門業者に委託してくれるのです。その業者の皆さんが船迫中学校のトイレを見て言ったことは、「今まで訪れた学校の中で一番きれいだ。」というお褒めの言葉です。皆さんも保健だよりでご承知の通りです。

また、1学期は県内各地の校長先生方や、大河原管内の先生方、柴田町の教育委員さんが会議や、授業参観等で大勢の来客がありました。皆さん、口々に挨拶がとてもいいこと褒めてくださいます。また、校舎がきれいなこともです。ぜひ、今以上に掃除も意識して懸命に行い、宮城で一番掃除が行き届いた学校にしてください。

そのためには掃除の時間を有効に使い、全員が協力することが大切です。

私は、教員になる前にはダスキンの会社に2年間勤務していました。社員として、人として大切なことは、「まずは掃除」と教えられてきました。ダスキンの社員として認められる第一歩は「掃除を心を込めてできる」ことでした。ダスキンはモップや掃除用品の会社ですが、一枚のぞうきんを大切に使い、自分が使う場所と、みんなが使う職場をきれいにすることでした。ダスキンの会社は、心を込めて掃除ができる人には、いいことが訪れる。幸せが訪れる。という言い伝えも当時がありました。この秋休みにもグラウンドをきれいにしてくれた賢人先生や、いつも3階の廊下をピカピカにしてくれる千春先生、常に校舎周辺の除草や、校内の掃除や消毒を丁寧に行ってくれている長澤さん、加藤さん、大沼さんには、必ずいいことが訪れるはず。そして、皆さんにも。

皆さんには、掃除を心を込めて行う時間を大切にしてほしいです。環境が整えば、心も整うはず。です。

私は、毎日、授業や給食や掃除の様子を見ています。2学期は、**「宮城で一番掃除が行き届いた学校です」**と誇れるよう、頑張ってください。



